

自治会による公共用地の除草作業

山下 修 (みどり21)



近年、自治会の組織率の低下や超高齢化社会への進行により、地域協働による河川や道路の維持活動への市民参加の減少が懸念されている。

❶ 河川除草作業の目的は。また、維持管理は誰がすべきか。

❷ 河川の環境美化や堤防などの点検を目的としている。維持管理は、本来河川管理者が行うべきであるが、河川改修を優先しており、河川美化については自治会等に協力をお願いしている。

❸ 河川愛護活動の課題と、県への支援に対する要望は。

❹ 高齢化による作業の負担や作業に不慣れな方が増えており、草刈り機等の使用が危険であるとの意見をいただいている。今後、地域での作業が難しくなっていくことが課題である。県が事務局を務める河川海岸統一美化運動等に関する調整会議で補助金の増額を要望している。



県管理河川高橋川草刈り状況

❶ 公共空間に延びた樹木の伐採への市の対応は。

❷ 市民からの通報やパトロール等で確認した場合、道路にはみ出した樹木は所有者の責任で伐採をお願いしている。樹木が電線に架かっている場合は、中部電力(株)が電線から1メートル範囲内程度を伐採する対応となっている。

❸ ため池の堤体のり面維持作業への対応は。

❹ 草刈りについては全国的な問題であることから、県と関係26市町で令和元年8月に静岡県ため池管理保全対策連絡協議会を設置して、その対策について課題を共有し研究している。

太田市政の功績

落合 良子 (無所属)



平成17年に小笠町・菊川町と合併、菊川市初代市長として市政を運営された。四期16年、多くの事業引き継ぎや新規事業が進められ組合施工の南部第二、宮の西の区画整理事業等の功績は多大であった。また、菊川市の成り立ちを象徴する初代県知事関口隆吉像を市制15周年事業として駅前広場へ建立した。

❶ 南部第二、宮の西、駅南区画整理事業の評価は。

❷ 南部第二、宮の西は宅地環境が整い、市内外から多くの方が居住、本市の人口増に大きく寄与している。また、西方高橋線の開通で広域的な交通体系が確立、商店の立地により、若者が多く住む、にぎわいと活力ある地域となった。駅南は駅前広場の拡張や防災上安全・安心な住環境は整った。商工会、観光協会、NPOの意見も聞きながら、にぎわい創出を図る必要がある。

❸ 関口隆吉像を活かしたまちづくりへの継承提言は。

❹ 今後市内外へ関口隆吉氏に関わる事業や情報発信を展開し、

郷土の偉人である関口隆吉氏を顕彰することで偉業や功績を次世代に伝え、後世につなげていくことが大切。郷土愛の醸成を期待している。

❶ 次期市長に申し送ることは。

❷ 人口問題についても今まで以上に真剣に取り組んでいただき、菊川市が活力あふれるまちであり続けるよう、市長としての役割を担っていただくことを切に願っている。

他に「脱原子力発電で安心な地域、温暖化防止を」について質問しました。



商店が並ぶ加茂大通り(西方高橋線)